



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東  
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 雅信  
 問合せ先責任者(役職名) 管理部課長 (氏名) 蜂須賀 伸子 (TEL) 06-6120-2001  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,054	15.6	101	419.2	148	197.1	130	321.4
2021年3月期第1四半期	1,776	△1.9	19	—	50	35.0	30	2.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
		円 銭		円 銭				
2022年3月期第1四半期		20.99		—				
2021年3月期第1四半期		4.98		—				

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	4,974	2,904	58.4
2021年3月期	5,014	2,870	57.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 2,904百万円 2021年3月期 2,870百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2022年3月期	—				
2022年3月期(予想)		0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	11.4	50	△10.4	75	△27.3	50	△34.3	8.04
通期	8,000	7.0	100	0.0	150	△21.0	100	△35.8	16.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務情報及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期1Q	6,228,039株	2021年3月期	6,228,039株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	13,777株	2021年3月期	13,717株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期1Q	6,214,307株	2021年3月期1Q	6,214,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、個人消費や企業活動が制約を受け、景気の悪化が急速に進みました。また、欧米各国ではワクチン接種が普及しており、国内においても進展の兆しが見られますが、経済活動の正常化には一定の時間を要するものと想定されます。

当第1四半期累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)における当社の業績につきましては、新型コロナウイルスの影響もありましたが、輸出入の取扱量の回復に伴い営業収入は増加し、営業利益についても前年比で大きく増加しました。これは取引量の増加や、社内コストの見直し等によるものであります。

この結果、当第1四半期累計期間における営業収入は2,054,066千円で、前年同四半期累計期間と比べ277,319千円(15.6%)の増収となりました。営業利益は101,539千円で、前年同四半期累計期間と比べ81,981千円(419.2%)の増益となりました。経常利益は148,711千円で、前年同四半期累計期間と比べ98,657千円(197.1%)の増益となりました。また、四半期純利益は130,425千円となり、前年同四半期累計期間と比べ99,477千円(321.4%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましても、営業収入は新型コロナウイルスの影響等による輸送需要の低迷等も懸念されましたが、前年同四半期比については増収となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は1,992,726千円で、前年同四半期累計期間と比べ276,908千円(16.1%)の増収となり、全セグメントの97.0%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は176,207千円で、前年同四半期累計期間と比べ88,151千円(100.1%)の増益となりました。

#### ② 自動車運送事業

当セグメントにおきましては、前年同四半期とほぼ同水準となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は60,038千円で、前年同四半期累計期間と比べ274千円(0.5%)の増収となり、全セグメントの2.9%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は4,001千円で、前年同四半期累計期間と比べ1,284千円(24.3%)の減益となりました。

#### ③ その他

当セグメントにおきましては、取引採算良化傾向にあります。

この結果、営業収入は1,301千円で、前年同四半期累計期間と比べ136千円(11.7%)の増収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は1,293千円で、前年同四半期累計期間と比べ136千円(11.8%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より11,082千円減少して2,843,084千円となりました。これは現金及び預金の増加19,309千円、立替金の減少28,838千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より28,631千円減少して2,131,296千円となりました。これは投資有価証券の減少29,822千円等によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より4,678千円減少して1,322,413千円となりました。これは未払金の増加62,123千円、未払法人税等の増加24,883千円、1年内返済予定の長期借入金の減少42,378千円、賞与引当金の減少37,883千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より69,385千円減少して747,315千円となりました。これは長期借入金の減少76,772千円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末より34,349千円増加して2,904,651千円となりました。これはその利益剰余金の増加89,411千円、その他有価証券評価差額金の減少58,770千円等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお業績予想につきましては、不確定要因が大きく、2021年5月12日の「2021年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を変更しておりません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,441,928	1,461,237
受取手形	854	300
営業未収入金	806,932	787,988
立替金	558,835	529,997
その他	48,200	65,974
貸倒引当金	△2,585	△2,412
流動資産合計	2,854,167	2,843,084
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	105,504	102,111
構築物(純額)	2,395	2,325
機械及び装置(純額)	61,136	58,102
車両運搬具(純額)	44,362	38,529
工具、器具及び備品(純額)	9,955	8,924
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	13,720	11,099
有形固定資産合計	813,258	797,275
無形固定資産		
のれん	167,586	160,603
その他	35,019	31,168
無形固定資産合計	202,605	191,771
投資その他の資産		
投資有価証券	964,690	934,868
繰延税金資産	4,820	22,622
差入保証金	79,673	79,543
その他	321,308	321,302
貸倒引当金	△226,428	△216,087
投資その他の資産合計	1,144,064	1,142,248
固定資産合計	2,159,927	2,131,296
資産合計	5,014,095	4,974,380

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	44,242	39,837
営業未払金	624,102	596,997
1年内返済予定の長期借入金	426,394	384,016
未払金	40,173	102,296
未払法人税等	39,652	64,535
賞与引当金	50,800	12,916
その他	101,727	121,814
流動負債合計	1,327,091	1,322,413
固定負債		
長期借入金	605,371	528,599
退職給付引当金	197,405	205,889
その他	13,924	12,827
固定負債合計	816,701	747,315
負債合計	2,143,792	2,069,728
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	14,296	18,025
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	372,764	462,175
利益剰余金合計	387,060	480,200
自己株式	△12,023	△12,043
株主資本合計	2,821,910	2,915,030
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,392	△10,378
評価・換算差額等合計	48,392	△10,378
純資産合計	2,870,302	2,904,651
負債純資産合計	5,014,095	4,974,380

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
営業収入	1,776,747	2,054,066
営業原価	1,675,265	1,865,580
営業総利益	101,481	188,485
販売費及び一般管理費	81,924	86,946
営業利益	19,557	101,539
営業外収益		
受取利息	28	12
受取配当金	18,083	17,748
受取家賃	6,690	6,600
受取手数料	1,848	1,848
雇用調整助成金	—	6,720
受取補償金	—	8,863
雑収入	11,113	11,231
営業外収益合計	37,764	53,023
営業外費用		
支払利息	2,852	1,711
支払手数料	1,232	1,231
社債発行費償却	128	—
賃貸費用	2,901	2,907
雑損失	152	0
営業外費用合計	7,267	5,851
経常利益	50,053	148,711
特別利益		
投資有価証券売却益	—	43,868
特別利益合計	—	43,868
特別損失		
投資有価証券評価損	—	363
特別損失合計	—	363
税引前四半期純利益	50,053	192,216
法人税、住民税及び事業税	19,104	61,790
法人税等合計	19,104	61,790
四半期純利益	30,948	130,425

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来、海上保険代理に係る営業収入について総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割を判断した結果、純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、従来の方針に比べて、当第1四半期累計期間の営業収入が6,724千円、営業原価が6,724千円それぞれ減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益については影響がありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。